



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

11月号

# ふじいでら 市議会だより

編集・発行／藤井寺市議会  
☎939・1208

## 令和4年第3回 定例会のあらまし

令和4年第3回定例会は9月6日から29日までの24日間の会期で開催され、市長から提出された令和3年度決算認定、令和4年度の補正予算、報告案件、条例の制定及び一部改正、人事案件など20案件と請願1件について、委員会・本会議を通じて慎重に審議した結果、継続審査(第4回定例会まで)に付した7会計決算などを除く14議案を議決し閉会しました。

# 一般質問



政新クラブ  
代表質問  
麻野 真吾

## 1 庁内マネジメント会議について

いつ

### (1)変化・改革について

**質問** 庁議、部長マネジメントにより変化・改革したところをお聞かせください。

**答弁** 各部とマネジメント会議をもち、施策を進めるにあたっての認識の統一を図っています。

**質問** 施策による、市民への受益についてお聞かせください。

**答弁** 児童生徒1人1台のパソコン端末の配布、全小中学校への空調設備の設置、子どもの医療費助成の拡充、住民票等のコンビニ交付、市税等のキャッシュレス決済、LINE公式アカウントやオンライン窓口の開設、公民連携の取り組み、実質単年度収支の2年連続黒字化などが成果の一例としてあります。

**質問** 次期総合計画の方向性についてお聞かせください。

**答弁** 「観光」「健康」「環境」の3分野と将来世代育成を見据えての「子育て」「教育」、そして「災害対策」を中心に取りまとめていきたいと考えています。

## 2 観光政策による地域の活性化について

### (1)到達状況について

**質問** 観光、シティプロモーション施策の総括及び成果についてお聞かせください。

**答弁** マイクロツーリズム需要を取り込むため、周遊キャンペーンを展開しました。また、観光拠点化を目指すアイセル

シユラホールで、世界遺産登録3周年イベントを開催しました。

**質問** シティプロモーション施策の目的、目標、到達状況についてお聞かせください。

**答弁** 選ばれるまちを最終目標に、まちのにぎわい活性化を図り移住定住人口増加を図ります。

## 3 ICTを活用した家庭学習について

### (1)その後の進捗状況について

**質問** 学力向上の数値目標についてお聞かせください。

**答弁** 令和7年度までに全国学力学習状況調査において、大阪府平均正答率を超えることです。

**質問** オンライン授業による学習機会損失を防ぐことについてお聞かせください。

**答弁** 令和4年2学期末までに、リアルタイムでオンライン授業を配信するだけでなく、双方の体制を整える予定です。

## (2)きめ細かい指導によるゆめ教室・英語村について

**質問** オンライン授業の応用として、小学生版ゆめ教室の実現について、お聞かせください。

**答弁** 地域の協力が必要になると考えています。

**質問** 学力が伸び悩む中で児童生徒個々の課題に寄り添った指導のお考えをお聞かせください。

**答弁** 学びを紡いでいくための支援や整備について、取り組んでいきたいと考えています。

**質問** 英語村の今後の展開についてお聞かせください。

**答弁** 定期的に英語村を開催できるように計画していきます。

## 4 予算編成について

### (1)令和5年度予算編成について

**質問** 令和5年度当初予算編成の目標設定をお聞かせください。

**答弁** 歳入の範囲での予算編成を前提とし、令和4年度当初予算を超えない予算編成となるよう進めたいと考えています。

**質問** 将来的にわたって安定的な行財政運営を行うための目標、到達点をお聞かせください。

**答弁** 財政調整基金、雑入の計上に頼らない予算編成に向けて、当面の課題としては、雑入その他の解消であると考えています。

**質問** どのように令和5年度当初予算編成を進めていくのかお聞かせください。

**答弁** 令和2年度、令和3年度と黒字決算を達成しました。好循環を止めないよう、スワラップアンドビルドの観点で、骨格

予算の趣旨を踏まえた予算として編成したいと考えています。

**要望** すべての施策に潤沢に投資することが難しい小さな市において、市長のリーダーシップ

による発信力で市を発展に導いていただくようお願いします。



政新クラブ  
個人質問  
岡本 光

## 1 ふるさと納税について

### (1)ふるさと納税の取り組みについて

**質問** ふるさと納税に関する取り組みと実績についてお聞かせください。

**答弁** 令和3年度で約6千600万円の実績がありました。企業版ふるさと納税では第一生命保険(株)から50万円の寄附をいただき、市民の体力、運動能力に

利用できる機器を購入しました。ガバメントクラウドファン

ディングでは、赤子塚古墳発掘調査の報告書の作成経費として、約97万円の寄附をいただきました。



ました。

**質問** 部活動の外部指導員確保などの事業に寄附金を活用できるのかお聞かせください。

**答弁** 一般財源部分に充当が可能です。

**質問** スポーツや教育に関連したガバメントクラウドファンディングへのニーズについてお聞かせください。

**答弁** スポーツや教育分野を含め様々なクラウドファンディングを展開したいと考えています。

**要望** 教育の充実、学力向上には課題が山積しています。課題

解決には財源確保が不可欠です。積極的に本制度の活用をお願いします。ふるさと納税に関する

取り組みの充実を要望します。



日本共産党  
代表質問  
瀬川 寛

### 1 子どもたちの健やかな成長のために

**質問** 学校給食費の1月～3月の無料化を、その後も続けて欲しいと考えますが、現時点でのお考えをお聞かせください。

**答弁** 現時点では継続する予定はありません。現在の物価高騰のような状況がいつまで続くかは不透明ですが、今後も給食費無料化事業のような様々な支援策を検討し、必要な支援を進めてまいりたいと考えております。

**質問** 子どもの医療費助成を18歳まで実施している自治体内、窓口負担なしの自治体ほどの程度ありますか。

**答弁** 498市区町村です。大阪府下においてはありません。

**質問** 窓口負担もなくし完全無料化とすることを強く求めます。いかがお考えですか。

**答弁** 無償化の実施には、大阪府の補助制度外の助成となりますることから、市の新たな財源が必要になること、また現状においては、大阪府の補助基準にのっとり府下共通の基準で運用しており、特定の市町村が独自の取り扱いを行うことは、医療機関における混乱を招くことが

予見されるなど課題があるため、市単独での実施は困難であると考えています。

**要望** 完全無料化に向け、府に對して、制度的課題の改善と、府自身の助成対象年齢の引き上げによる財政的負担の軽減を求めよう、強く要望します。

**質問** 令和5年度における市内小中学校の通常学級で、35人を超える学校数クラス数、支援学級のお子さんを含めた人数が、40人を超える学校数クラス数をそれぞれ教えてください。

**答弁** それぞれ、小学校1校2クラス、中学校3校22クラスと、小学校1校2クラス、中学校1校4クラスとなる予定です。

**質問** 令和5年度から小中学校の35人学級と、支援学級のお子さんを含めた35人学級を実現するために必要な教員数並びに前者の費用を教えてください。

**答弁** 6人と、14人で前者の費用は約2700万円です。

**要望** 支援学級のお子さんを含めると40人を超えるクラスがまだまだにあるのはあまりにも進歩が遅すぎます。一刻も早い少人数学級の実現を強く求めます。

**質問** 安倍元首相の国葬は、法的根拠もなく、弔意の強制につながるいかなる行為も行うべきではありません。現時点でい

かがお考えですか。

**答弁** 市教育委員会としては、現在のところ、各学校に対し、甲意表明にあたる弔旗半旗掲揚、黙とう、行事の制限、国葬にかかわる講話等を行うことを通知・連絡することは考えていません。市としては、今回の国葬に際して弔意を表すため、本庁舎をはじめ市内の公共施設において、半旗を掲げる予定をしています。ただし、職員などには、黙とうを求める予定はありません。また、各学校への半旗の掲揚などを求める予定もありません。

### 2 旧統一協会への対応について、市の立場を質す

**質問** 旧統一協会とのこれまでの関わりと、今後一切、関わらないか、市の立場をお聞かせください。

**答弁** 関係行事参加者の訪問を受けたこと、マスク寄贈、令和4年6月の古墳町を愛する会地域の絆づくりフェスタの視察がありました。そのほか市が行っている事業や契約相手方としての関わり、後援名義や表彰などはありません。今後は、旧統一協会のような、霊感商法や多額な献金などの社会的問題を抱える団体と関わりを持つことがな

いよう、対応してまいります。



日本共産党  
個人質問  
木下 諱

### 1 特別支援学級の制度変更について

**質問** 現在、1日の授業時数のうち1時間からでも支援学級に在籍できます。しかし令和5年4月の制度変更後は、支援学級で1日の半分以上授業を受けない場合、通常学級の在籍となります。すると、これまでの支援学級の支援は受けることができず、制度変更の対象となる児童生徒ほどの程度いますか。

**答弁** 週の授業時数の半数以上を満たしていない児童生徒は、小中学校とも相当数います。

**質問** 制度変更後は支援学級での授業時数が増えるため、支援学級の授業を行うための時間割、指導体制などの課題や懸念が校長会からも挙げられています。対策をお聞かせください。

**答弁** 支援学級に関する教員は、設置する学級数に応じて配置されます。設置が必要な学級数に合った教員数を確保します。

**質問** 通常学級に支援担当教員が入り込みという形で授業を行った時も、支援学級での授業数として認めてはいかがですか。

**答弁** 教育課程については保護者と相談して編成しますが、原則として週の授業時数の半数以上を支援学級で授業を実施することとなっています。

**要望** 支援担当教員の入り込みも支援学級の授業数として認めるべきです。また、制度変更後の指導体制の課題解消に向け市独自で教員の増員を実施し、併せて府にも要望してください。

**2 高齢者の補聴器購入費の補助を求める**

**要望** 全国でも補聴器の補助は広がっています。府下では貝塚市が補助に踏み出しました。本市でも是非、実施してください。



改革ふじいでら  
代表質問  
山本 申司

### 1 学校教育の取り組みについて (1)安心・安全な学校づくりに ついて

**ア. 第3次学校安全の推進に関する計画について**

**質問** 第3次計画では、今までの内容が適切であったか定期的



に点検し、PDCAサイクルを確立して改善を図っていくことが大事とあるが、取り組み状況についてお聞かせください。

**答弁** 各小中学校では、年度末の総括会議で学校安全計画や危機管理マニュアルを見直し、更に生活安全や交通安全に関する授業内容では、特別活動を中心に定期的に見直し、改善を図っております。

**質問** 児童生徒に対しての安全教育や防犯教育についてお聞かせください。

**答弁** 小学校低学年を対象に、自分の身を守るためのCAPプログラムを行い、また高学年や中学生には、羽曳野警察署などの方に来ていただき非行防止や犯罪被害防止教室を行っております。

**質問** 教職員の危機管理能力の向上を図ることも大事だと考えますが、取り組みについてお聞かせください。

**答弁** 羽曳野警察署の協力のもと子どもの安全に関する講演や、不審者が侵入してきたことを想定した訓練を、教職員を対象に毎年実施しております。

**要望** 今後は、教職員や地域が学校の安全を意識し、取り組みを推進するためにも「学校安全の日」を設定し、定期的に学校

の安全に関する情報を発信していただける取り組みを要望しておきます。

## (2) 防災教育の充実について

**ア. 藤井寺ジュニア防災リーダーについて**

**質問** ジュニア防災リーダー育成事業を受講した子どもたちが、事業で学んだことを生かし、身に付けた力を発揮できる取り組みについてお聞かせください。

**答弁** 受講した生徒は、校内の避難訓練の際にリーダー的な役割を果たし、災害時に主体的に行動する態度を育んでいく取り組みにつながっています。また参加した生徒に地域貢献する意識が高められるよう働きかけます。

**要望** 今後は、関係部署と連携を図り、受講した子どもたちが学んだ力を発揮できる、場所や機会をつくっていただくことを要望しておきます。

## (3) 郷土愛を育む教育の推進について

**ア. 郷土学習や世界遺産学習について**

**質問** 世界遺産に登録された古墳群について学習することで、郷土愛を育むことにもつながると思いますが、取り組みについてお聞かせください。

**答弁** 小学校低学年では、校区

の実情に合わせて古墳などを巡り、まちの人にインタビューをしたり写真を撮ったりして学んでいます。また藤井寺中学校では古市古墳群を日本語や英語で紹介する「古市古墳群ARマップ」を作成しました。

**要望** 本市のアンバサダーの長谷川義史さんに、世界遺産をテーマに絵本を書いていただき、本市の幼稚園や保育所の子どもたちなどに絵本を通して郷土愛を育む機会もつくっていただくことを要望しておきます。

## (4) 道徳教育の取り組みについて

**ア. 命を育む教育の推進について**

**質問** 生命を大切にすることや思いやりについて、子どもたちがより深く考え、日常生活に生かすための取り組みをお聞かせください。

**答弁** 各学校では道徳の授業で、いじめ問題やSNS問題を取り上げ、命の大切さやいじめについて考える機会を複数回設け、質の高い道徳の授業を展開できるように取り組んでいます。

**要望** いじめを含め、様々な悩みを抱える児童生徒に対する相談体制はもちろんのこと、道徳の授業だけではなく、他の教科と併せ「いのちの大切さ」の授業を更に展開していただくことを要望しておきます。

**イ. 高齢者や障がい者に対する思いやりの心を育てる指導について**

**質問** 高齢者や障がい者への思いやりの心を育てる取り組みについてお聞かせください。

**答弁** 各学校では、支援学級と通常学級との交流や地域にある高齢者・障がい者向けの施設との交流も行い理解を深めています。また車いすやアイマスクなどの疑似体験を行うことで思いやりや優しい心を育む取り組みも行っております。

**要望** 社会的に弱い立場に立たされやすい人たちに対しての、思いやりの心を育てる取り組みを今後も推進していただくことを要望しておきます。

## (5) 部活動指導の地域移行について

**ア. 今後の方針について**

**質問** 地域移行に向けての課題や今後のスケジュールなどについてお聞かせください。

**答弁** 課題としては、指導者の質や量の確保、大会などの引率や事故時の対応、保護者が負担する会費、学校との連絡方法など様々な課題がありますが、本市においては、令和7年度末までに休日の部活動を地域に移行する方針です。

**要望** 課題をクリアするために

も、財政的な支えは不可欠で国や大阪府に対して財政支援を求めていただくよう要望します。また、部活動改革の多くの課題を見極めながら、生徒にとって本望に望ましい部活動の実現のため段階的に出来ることから着実に地域移行を進めていただくことを要望しておきます。



改革ふじいでら  
個人質問  
國下 尊央

## 1 マイナンバーカードの現状について

**(1) 窓口予約システムの運用について**

**質問** 混雑や待ち時間を避けるための工夫として、受け取り予約システムの導入後の実施状況と、現在の利用状況についてお聞かせください。

**答弁** 現在の利用状況につきましては、約3割の方が事前にご予約をされてから来庁され、それ以外の方は予約なしでお越しになられます。今のところ目立つた混雑にはいたっていません。

**質問** 現在の交付率と申請率についてお聞かせください。

**答弁** マイナンバーカードの交付率は令和4年8月31日現在で交付件数が2万8900枚で45.5%、また申請率につきま

しては、申請者数が3万4853人で54.9%となっております。1年前と比べますと約10%の増加しております。

**質問** 今後ますます需要が高まっていく事と思います。そうなる、平日に市役所に来られない市民の方も多くいらっしやると思いますが、何か対策はされていますか。

**答弁** 月に1回のペースですが令和4年8月から10月までは第2日曜日の午前中にカードの交付を行っております。

**要望** 窓口予約システムの周知徹底もこれまで以上にしっかりとアピールしていただき、市民の皆さまが安全かつ快適に手続きを行うことができるようお願いいたします。



公明党  
代表質問  
片山 敬子

## 1 子どもの成長、見守りシステム導入について

(1)子どもの貧困、虐待をテーマ連携で支援することについて

**質問** 子どもの貧困や虐待などの問題は家庭の外から見えにくく事態が深刻化してから分かるケースが多いです。我が党も推進している、箕面市で取り組まれている子ども成長システムは、関係機関ごとに情報をテーマ連携分析ができ、学校や行政の福祉部局、児童相談所などに分散する子ども、家庭の情報を縦割りを超えて集約したデータベースを活用します。市内在住の0〜18歳の子どもの学力や健康、体力、登校状況、生活保護の受給有無などの情報が共有され、専任部署が定期的に分析し困窮リスクを抱える子ども、家庭を抽出し関係機関を通じて見守りや支援につなげていきます。本市でこのような見守りシステム導入について考えておられますか。

**答弁** 大阪公立大学による「子供達が健やかに過ごせる未来社会実現の共創拠点」〜EBPMによる行政政策と組織のネットワークシステム実現〜という、子どもの貧困、虐待、ヤングケアラーに関する早期発見から支援につながる取り組みプロジェクトに参画しており採択結果を待っているところです。

**質問** 採択されなかった場合、リスクの判断が遅くなると思われ

れます。近年発生した児童虐待事案において、転居した際の自治体間の引き継ぎ、児童相談所との情報共有が不十分であったことが課題となり、国は、要保護児童に関する情報共有システム導入をすすめております。本市では情報共有はどのように行っていますか。

**答弁** 庁内関係課や児童相談所との情報共有を書面や電話、必要に応じてケース会議を図っています。

**要望** 自治体間や関係機関の連携は重要であるため書面の台帳管理ではなく近隣市も取り組んでいるシステム導入を早急にお願いします。また新たに設置されることも家庭庁や国の組織体制に合わせて、市の組織についても検討をお願いします。また、あらゆる世代の包括支援相談センター機能もお願いします。

## 2 学校教育の充実について

(1)不登校の取り組みについて

**質問** 小中学校で不登校数が8年連続過去最多を記録しております。学校ではどのような取り組みをされていますか。

**答弁** 不登校の未然防止のため、児童生徒の理解状況や習熟程度に応じた授業、主体的に学習できる授業、補充指導などを

行っています。長期にわたる児童生徒には、家庭訪問などで思いや思いをくみ取り、校内適応指導教室や保健室、相談室など、在籍するクラスとは別の場所の登校できる体制整備しています。

**要望** 不登校児童生徒に対する多様な教育の機会の確保の支援策として子どもの状況に合わせた授業力キーププログラムを組むことができる不登校特別校の設置をお願いします。また年齢、背景、国籍を超えて学習の機会を保障する夜間中学校の存在を示していただき、誰一人置き去りにされない多様な学びの場の確保をお願いします。

(2)がん教育について

**質問** これまで求めてきました健康教育のがん教育が新学習指導要領に盛り込まれ令和3年度から中学校で全面的に始まっています。現状についてお聞かせください。

**答弁** 令和4年度10月に藤井寺中学校でPL病院、第三中学校は大阪国際がんセンターから講師で来ていただくことになっていきます。

**要望** 教育に格差がないように道明寺中学校でのがん教育の実施をお願いします。

## 3 つながり支えあう健康、医療について

**質問** 市民の皆様が健康維持するために特定健診は疾病予防の柱に位置づけられています。近年の特定健診の受診率と取り組みをお聞かせください。

**答弁** 令和2年度は大阪府下で2番目と高受診率です。郵送や電話、保健師や管理栄養士が自宅訪問をさせていただき、受診方法、予約の要否、休日・夜間の実施期間の情報提供など、きめ細やかな対応をしています。生活習慣や食生活の改善の必要な方に特定保健指導の実施も行っていきます。更に新たな産官学連携の取り組みもしているところです。

**要望** 市民の皆様の健康が守られる特定健診事業の様々な取り組みに感謝しています。そのほか大阪府のアスマイルアプリ事業や、大阪がん循環器病予防センターのホームページに糖尿病発症予測ツールがありますので、本市の特定健診のホームページにリンクしていただくなど引き続き積極的な取り組みをお願いします。





公明党  
個人質問  
伊藤 政一

1 サニタリーボックス設置について

(1)本市の現状について

質問 近年、前立腺や膀胱がんなどの罹患者が増加傾向にあり、治療等の際に尿漏れパッド等を着用するが、使用済のパッドを捨てるのに苦労している市民からサニタリーボックス設置の要望がありますか。

答弁 設置に関するご要望はありませんが本庁舎のバリアフリートイレにはサニタリーボックスを設置しています。

要望 前立腺がん罹患者や中高年齢者向けに様々なパッドも普及し、世界遺産観光に訪れた方・アイセルシユラホール・市立体育館など公共施設来訪者、LGBTQの方が安心して使用できるように、男子用個室トイレ内にサニタリーボックス設置を要望いたします。



公明党  
個人質問  
玉田 日登美

1 子どもの弱視の早期発見について

質問 3歳6か月児健診への屈折検査機器の導入についての動

向をお聞かせください。

答弁 国・府の補助制度を活用して令和5年度から実施していく検討を進めてまいりたいと考えております。

2 子どもの未来のための取り組みについて

(1)学校教育について

ア.学力について

イ.コミュニケーション能力の育成について

質問 学力だけでは無く想像力、コミュニケーション能力育成のための取り組みを教えてください。

答弁 予測困難な社会を生き抜く力を着実に身に付けるため、自分の思いを様々な形で表現できる授業、グループ内で対話、共有することでさらに考えを深める授業などが行われています。(2)子どもの意見を反映できる取り組みについて

質問 子どもの意見の反映について市長はいかがお考えですか。

答弁 藤井寺市を背負う子どもたちから意見を聞き形にする事はシビックプライドの醸成につながり大変意義があり、今後様々な機会を通じ若い世代の方々の意見を可能な限り施策へ反映させたいと考えています。



大阪維新の会  
代表質問  
生田 達也

1 大阪・関西万博について

(1)協会事業への参加について

質問 会期前事業である共創チャレンジと、共創パートナーの取り組み内容を伺います。

答弁 共創チャレンジは、理想とする未来社会の実現に向けてチームでチャレンジする事業。共創パートナーは、そのチャレンジを創出・支援する法人・団体を集う取り組みです。

質問 形式的に共創チャレンジに本市は参加しているが、共創パートナーに参加していない理由を伺います。

答弁 健康分野・観光分野の実証実験の場の提供などで、現在登録に向け準備を進めています。

質問 令和4年度、小学校・中学校で専用機材を用い、万博への理解を深める授業を行う教育プログラムに、本市から参加する学校があるのかを伺います。

答弁 令和4年度の本市からの参加校はございません。

要望 共創パートナーの登録と、来年は1校でも多い教育プログラムへの参加を要望します。

(2)万博を通じた産業振興について

質問 万博会場内の催事スペースを活用した出店の募集に、本市は応募するのかを伺います。

答弁 正式に募集があれば必ず応募いたします。

(3)万博を活用した観光誘客について

質問 万博を見据えた、現在おこなっている観光誘客のための仕込みを伺います。

答弁 本市観光協会や市内飲食店、旅行代理店と連携して、日帰りパッケージツアーの造成に、現在、取り組んでいます。

要望 魅力あるパッケージツアーの造成と、たくさんの旅行代理店への働き掛けを要望します。

(4)機運醸成の取り組みについて

質問 機運醸成活動を伺います。

答弁 本市庁舎内に、公式ロゴマークを使用したのぼりを複数設置したり、市職員に対して公式ロゴシールを配布し、各自名札に貼り付けています。また、市民まつりにおいて万博ブースの設置も予定しています。

2 ベンダーロックインについて

質問 情報システム管理を特定の企業に長期間依存するベンダーロックインが深刻です。このベンダーロックインによって、兵庫県尼崎市が全市民の個人情報紛失する事件が起きた。本市でも事件が発生する可能性があるのかを市長に伺います。

答弁 本市の運用上、限りなく発生の可能性はゼロに近いと考えますが、再点検を実施し、全職員に注意喚起いたしました。

要望 ベンダー主導にならない専門知識を身に着けるため、令和5年度の予算に人材育成に関する予算計上を要望します。



大阪維新の会  
個人質問  
松本 洋介

1 市長タウンミーティングについて

質問 参加された市民から出てきた意見を伺います。

答弁 主な内容としては、道路の改善や下水道整備など都市基盤の整備に関することや、公共施設循環バスや公共交通のあり方などの市民の移動手段に関すること、子育て・教育の取り組みに関すること、市民病院や複合化施設など公共施設に関

すること、世界遺産である古墳の整備や有効活用、市のにぎわいづくりがあげられます。

**質問** 市長の残りの任期中に特に実現させたいことを伺います。

**答弁** シェアサイクルを導入し、世界遺産古市古墳群をはじめ、神社仏閣や個性豊かな商店などの観光スポットが点在するまちの魅力を発信します。また、石川河川公園のバーベキュー広場を9月23日～11月20日までの土日祝に再開します。

**要望** 大阪・関西万博と本市の観光・にぎわいは切り離せない関係であると考えます。積極的な参画を要望します。また、世界遺産を契機とした、仮称世界遺産古墳マラソンの創設も要望します。

**質問** 放課後児童会の開設時間の延長を要望する意見がありますが、市の対応を伺います。

**答弁** 開設時間の延長について、研究をすすめております。

**質問** 私は多様化するニーズに対し、民間活力の導入を訴えております。進捗を伺います。

**答弁** 民間活用については、令和2年度に他市への視察を行いました。利用時間の延長などを含めたサービスの拡充や、指導員に欠員がでた場合などは事業所内で人員の融通が可能で

あったなど、安定した運営ができること、またサービス面の充実に伴い利用料の増額なども課題もあるとの状況を教えていただきました。

**要望** 人口推移や需要を見込み、民間活力の導入なども含め、中長期的な視野で多様化するニーズに対応できる放課後児童会の運営にあたってください。

**質問** 住民アンケートでの公共施設循環バスの結果を伺います。

**答弁** 公共施設循環バスの市民の認知度は82.6%と高いものの、利用率は4.1%でした。循環バスを利用しない理由としては、「自動車・自転車・徒歩で移動できるから」が、上位を占め、これに続く理由としては、便数が少ない・買い物など多目的利用ができないなどが多くありました。

**要望** 今後、市民ニーズの多様化が想定されます。想定される課題やニーズ、飛び地にお住まいの市民の生活圏域も考慮し、広域的な考えも取り入れ、今後のあり方を検討してください。

## 2 学校教育の課題について

**要望** ヤングケアラーや貧困、虐待などの課題について他課との連携をより積極的に行ってください。また、学校現場へは研

修制度を拡充させ、教職員の発見する力や意識を更に向上していただくことを要望します。

また、全国学力学習状況調査では、本市の平均正答率が全国や大阪府と比較すると依然として低い水準です。特に小学校でその課題が強くなっていることから、専科指導などの充実による授業力向上を要望します。



大阪維新の会  
個人質問  
河井 計実

**1 「犬と猫のマイクログリップ情報登録制度」について**  
**質問** 犬や猫のマイクログリップ登録制度についてどのような制度かを伺います。

**答弁** 令和4年6月1日からペットシヨップなどで販売されます犬や猫について、環境省が定める基準に適合したマイクログリップを装着することが義務付けられたものです。マイクログリップが装着されていれば所有者を容易に確認でき遺棄の防止にもなり、殺処分を減らすことにもつながるということから、義務化となったものです。

**要望** 最近「まちねこ」が何者かに捕獲され誘拐されるという話をボランティアさんからお聞きしました。さくら猫にチップ

を入れることが出来れば、地域ネコとして誰がどの地域でお世話をしている猫かわかり、飼い犬飼猫に対してのマイクログリップの普及により、「まちねこ」の命を守ることができるようから「まちねこ」に対してのマイクログリップの導入を要望します。



**1 産後ヘルパー事業について**  
**質問** 本市での産後ヘルパー事業の制度の概要と利用状況をお聞かせください。

**答弁** 1歳未満の子どもをもつ母親等が、家族等から家事や育児協力を得られない場合に、委託先の藤井寺市シルバー人材センターからヘルパーを派遣します。利用状況は、令和3年度は3人、令和2年度は2人です。

**質問** 健康課の産後ケア事業の実績に対して利用実績が少ない理由は何かと、周知方法をお聞かせください。  
**答弁** 民間事業の利用や家族や友人などのサポートがあり利用

せずに済んだなどが主な要因です。周知方法は、健康課と連携して来庁時や家庭訪問時など、出産前後にかけて、個別に案内しています。

**質問** 他市の状況を調べると、介護事業所やNPO法人に委託先を広げています。専門のヘルパーの支援を受けられることは利用者の安心感につながり、利用しやすくなると考えますが、拡充についてお聞かせください。

**答弁** 子育て世代の方々の安心材料の一つとして認識し、より多くの方に利用していただきやすい状況につながるように、委託先の拡充も含め、調査します。  
**要望** 協力を得られず家事・育児をする母親等を支援する必要な事業です。事業化されていない近隣自治体もありますが、やっているから良いのではなく、やっているも本市の事業が充実しているとは思えません。他市がやっていないからこそやるという考えのもと「子育てするなら藤井寺」の方針の裏付けになるように、常にこの制度は使い勝手が良いかと振り返り、関係される部署は連携を強め、さらに頼れる支援方法を考え、子育て施策の充実を図ってください。

# 令和4年第3回定例会議決結果一覧

議案番号・議案名		会派・議員名		改 革	ふ じ い で ら	公 明 党		維 新 の 会 大 阪		政 新 ク ラ ブ		日 本 共 産 党		無 会 派		結 果	
		山 本 忠 司	畑 謙 太 朗			國 下 尊 央	片 山 敬 子	伊 藤 政 一	玉 田 日 登 美	生 田 達 也	松 木 洋 介	河 井 計 実	麻 野 真 吾	岡 本 光	木 下 誇		瀬 川 覚
第 3 回 定 例 会	議案第41号	執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第42号	職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第43号	藤井寺市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第44号	藤井寺市立認定こども園条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第45号	藤井寺市監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
	議案第46号	令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第48号	令和4年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第49号	令和4年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第50号	令和4年度藤井寺市病院事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第51号	令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	請願第1号	「クリーンピア21」の存続を求める請願について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対

## 報告・継続審査案件

報 告	令和3年度藤井寺市健全化判断比率の報告について
	令和3年度藤井寺市資金不足比率の報告について
継 続 審 査	令和3年度藤井寺市一般会計歳入歳出決算認定について
	令和3年度藤井寺市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について
	令和3年度藤井寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
	令和3年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
	令和3年度藤井寺市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
	令和3年度藤井寺市病院事業会計決算認定について
	令和3年度藤井寺市公共下水道事業会計決算認定について



## 藤井寺市議会日程 第4回定例会のお知らせ

### 【本会議】

11月29日(火) 議案説明など  
12月 7日(水) 一般質問  
12月 8日(木) 一般質問など  
12月20日(火) 委員長報告など

### 【委員会】

12月13日(火) 民生文教常任委員会  
12月14日(水) 総務建設常任委員会

※各日10時から開催します。日程は変更する場合があります。